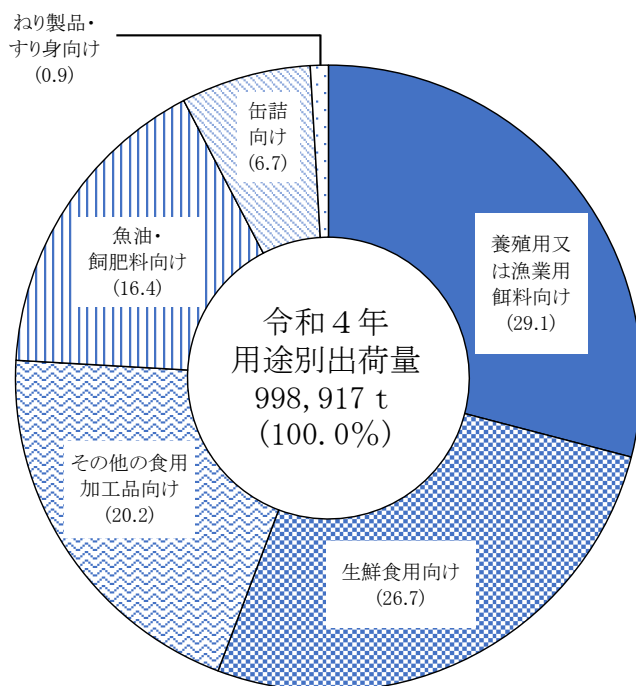


1 令和4年水産物の用途別出荷量の動向

令和4年の水産物の出荷量（31漁港・19品目）は99万8,917 tとなった。

用途別にみると、養殖用又は漁業用餌料向けは29万312 t（出荷量割合29.1%）、生鮮食用向けは26万6,489 t（同26.7%）となった。

図1 用途別出荷量割合（31漁港・19品目）



注：表示単位未満の数値を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

表 用途別出荷量及び出荷量割合（31漁港・19品目）（出荷量の上位品目）

品目	計	生鮮食用向け	ねり製品・すり身向け	缶詰向け	その他の食用加工品向け	魚油・飼肥料向け	養殖用又は漁業用餌料向け
出荷量 (t)							
合計	998,917	266,489	9,270	67,099	201,427	164,320	290,312
生鮮品計	832,904	189,651	9,270	62,945	116,406	164,320	290,312
うちまいわし	439,998	66,571	2,828	14,022	21,314	159,812	175,451
さば類	193,280	25,210	3,146	43,905	25,402	1,869	93,748
まあじ	66,794	22,721	3,102	-	24,520	234	16,217
ぶり類	33,286	16,968	-	-	16,318	-	-
たら	22,875	10,947	194	-	11,733	1	-
冷凍品計	166,013	76,838	-	4,154	85,021	-	-
うちかつお	120,192	35,307	-	2,210	82,675	-	-
きはだ	28,336	26,440	-	1,636	260	-	-
出荷量割合 (%)							
合計	100.0	26.7	0.9	6.7	20.2	16.4	29.1
生鮮品計	100.0	22.8	1.1	7.6	14.0	19.7	34.9
うちまいわし	100.0	15.1	0.6	3.2	4.8	36.3	39.9
さば類	100.0	13.0	1.6	22.7	13.1	1.0	48.5
まあじ	100.0	34.0	4.6	-	36.7	0.4	24.3
ぶり類	100.0	51.0	-	-	49.0	-	-
たら	100.0	47.9	0.8	-	51.3	0.0	-
冷凍品計	100.0	46.3	-	2.5	51.2	-	-
うちかつお	100.0	29.4	-	1.8	68.8	-	-
きはだ	100.0	93.3	-	5.8	0.9	-	-

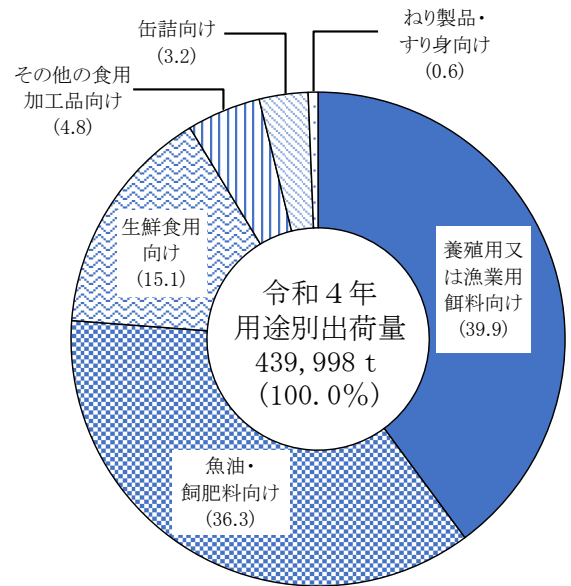
2 令和4年主要品目の動向（出荷量の上位品目）

(1) 生鮮品

ア まいわし

用途別にみた出荷量割合は、養殖用又は漁業用餌料向けが39.9%と最も高く、次いで魚油・飼肥料向けが36.3%となった。

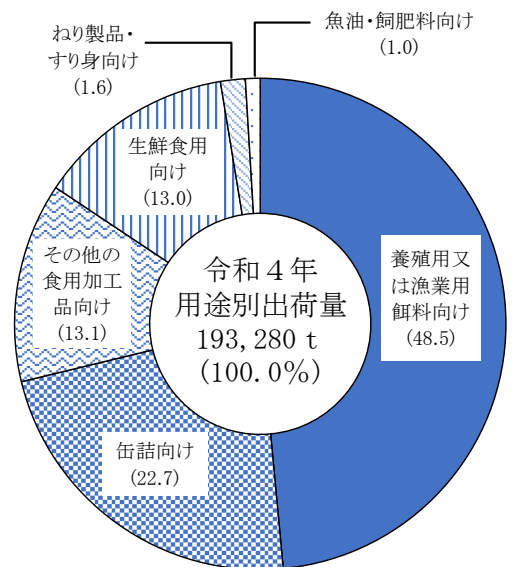
図2 まいわしの用途別出荷量割合



イ さば類

用途別にみた出荷量割合は、養殖用又は漁業用餌料向けが48.5%と最も高く、次いで缶詰向けが22.7%となった。

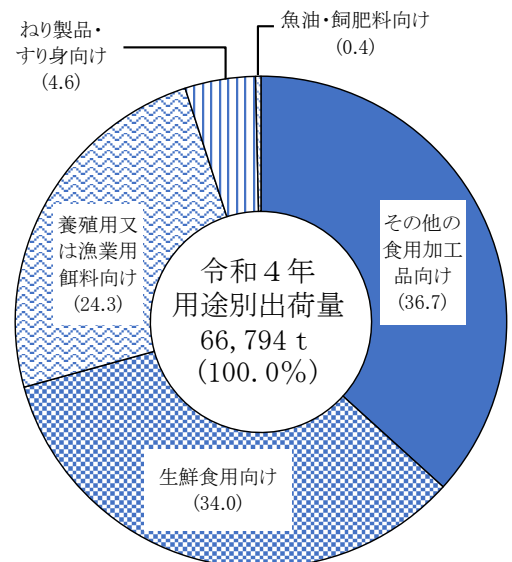
図3 さば類の用途別出荷量割合



ウ まあじ

用途別にみた出荷量割合は、その他の食用加工品向けが36.7%と最も高く、次いで生鮮食用向けが34.0%となった。

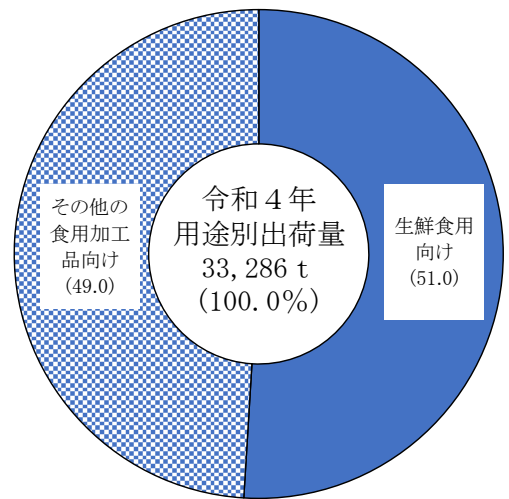
図4 まあじの用途別出荷量割合



エ ぶり類

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが51.0%と最も高く、次いでその他の食用加工品向けが49.0%となった。

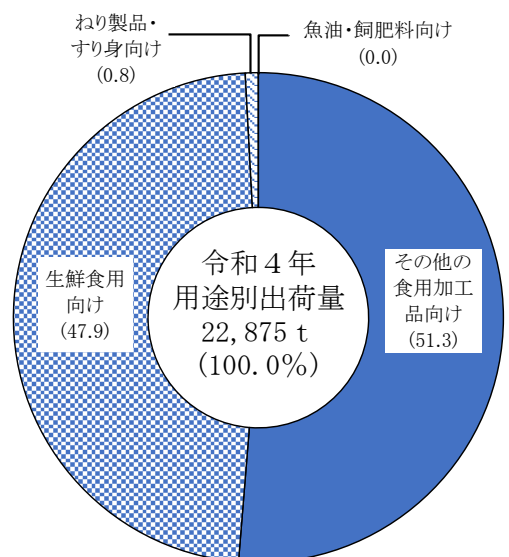
図5 ぶり類の用途別出荷量割合



オ たら

用途別にみた出荷量割合は、その他の食用加工品向けが51.3%と最も高く、次いで生鮮食用向けが47.9%となった。

図6 たらの用途別出荷量割合

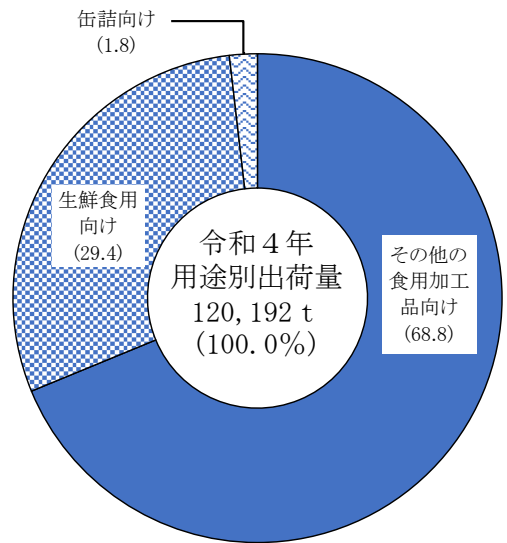


(2) 冷凍品

ア かつお

用途別にみた出荷量割合は、その他の食用加工品向けが68.8%と最も高く、次いで生鮮食用向けが29.4%となった。

図7 かつおの用途別出荷量割合



イ きはだ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが93.3%と最も高く、次いで缶詰向けが5.8%となった。

図8 きはだの用途別出荷量割合

